日本語

詳しい操作説明は、L-02Dに搭載されている
「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

はじめに

L-02Dをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- 本端末は、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースがないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話についても自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータは、microSDカードに保存することをおすすめします。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。また、本端末から取扱説明書の最新情報を見ることができます。

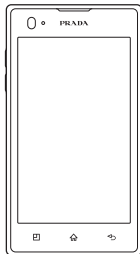
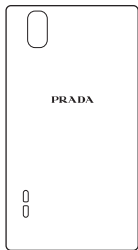
■「クイックスタートガイド」（本体付属品）
基本的な機能の操作について説明しています。

■「取扱説明書」（本端末のアプリケーション）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ホーム画面で「アプリ」▶「取扱説明書」

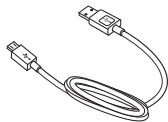
■「取扱説明書」（PDFファイル）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

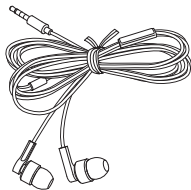
その他のオプション品・関連機器について
→ P79

L-02D本体
（保証書付き）

リアカバー L29

クイックスタートガイド（本書）

電池パック L16

USB接続ケーブル L02

ACアダプタ L03
（保証書付き）

microSDHCカード（8GB）（試供品）

PRADA Earphone（試供品）

本書のご使用にあたって

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の本文中においては「L-02D」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMA カードをご利用のお客様は、本書内に記載しているドコモUIM カードはFOMA カードと読み替えてください。

操作説明文について

本書では、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表記	操作内容
ホーム画面で「アプリ」	ホーム画面に表示されている をタップする • ホーム画面のアイコンは、以下のように表記しております。 :「電話」 :「電話帳」 :「spモードメール」 :「アプリ」
ホーム画面で ▶「システム設定」	画面の下にある を タップして、表示されたオプションメニューの「システム設定」をタップする
「Wi-Fi」▶「ネットワークを追加」	画面に表示されている「Wi-Fi」をタップして、続けて「ネットワークを追加」をタップする
をロングタッチする	画面に表示されている を長めに（1 ～ 2秒間）触れたままにする

お知らせ

- 本書の操作説明は、ホームセレクタが「ホーム」に設定されていて、ホーム画面の内容が初期設定の場合で説明しています。ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリケーションを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

目次

本端末のご利用について

- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期やソフトウェア更新を行うための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」､「サイレント」に設定中でも、エリアメール、着信音や各種通知音を除く音（撮影音、動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。

  ホーム画面で ▶「システム設定」▶「端末情報」▶「ステータス」をタップしてください。
- ご利用の本端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。

  ホーム画面で ▶「システム設定」▶「端末情報」をタップしてください。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。詳しくは「ソフトウェア更新」（P89）をご参照ください。
- 本端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- FOMA カード（青色）をお使いの場合、海外で本端末を利用することはできません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 他人に利用されないように、画面ロックまたはパスワードを設定し本端末のセキュリティを確保してください。詳しくは「画面のロック」（P71）、「暗証番号とドコモUIMカードの保護について」（P59）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスなどをほかの人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 本端末は64Kデータ通信には対応しておりません。

- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは本端末の取扱説明書をご参照ください。

  また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の9項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子（microUSB接続端子、イヤホンマイク端子）に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロック設定を設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリケーションやワンセグ視聴などを長時間行うと、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

本端末内のドコモUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

スピーカーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には、飛散防止のITO接着、OCA接着を施した強化ガラス、カメラのレンズの表面にはアクリルパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

- 各箇所の材質について→材質一覧（P18）

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V ～ 240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ	強化ガラス	−
	フロントカバー	PC樹脂	NCVM
	リアカバー	PC樹脂	SFコーティング
電源キー		STS316LF+PC樹脂	PVD After Spin Hair Line
音量キー		PC+TPU樹脂	UVコーティング
カメラ部		アクリル	BK背面印刷
フラッシュ部		PMMA樹脂	−
カメラ装飾部		アルミ	Silver Anodizing After AL Spin Hair Line
イヤホンマイク端子装飾部		STS316LF	ポリッシング
microUSB接続端子カバー		STS316LF+STS304H	PVD After Spin Hair Line/Laser Printing

使用箇所		材質	表面処理
電池収納面		STS304	－
充電端子コネクタ(本体電池収納部)		チタン銅	金ニッケルメッキ処理
スピーカーグリル		STS304	電着塗装
ネジ		軟鋼	ZnBメッキ処理
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	PC樹脂
	シール部	PET	インクコート
	端子部	金＋ニッケル	金メッキ
microSDカード取り付け部	ガイド	ステンレス	ニッケル処理
	固定部	LCP	－
	金属端子部	リン青銅	ニッケル＋金メッキ処理
UIMカード取り付け部	ガイド	SUS	ニッケルメッキ処理
	固定部	LCP	－
	金属端子部	コルソン合金青銅	金メッキ処理＋ニッケルメッキ処理

microSDHCカード（試供品）の取り扱いについて

⚠ 危険

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

PRADA Earphone（試供品）の取り扱いについて

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

イヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

PRADA Earphoneは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でPRADA Earphoneに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■水をかけないでください。
本端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子（microUSB接続端子、イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

■ タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
タッチスクリーンが破損する原因となります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ microUSB接続端子やイヤホンマイク端子を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常はmicroUSB接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**

■ **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

■ **周波数帯について**
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■ ■■■ ■■■：
2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

■ **本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**

■ **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

microSDHCカード（試供品）についてのお願い

■ 水をかけないでください。

microSDカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

■ お買い上げ時、microSDカードはあらかじめ本端末に取り付けられています。

■ 本品は無料修理保証の対象外となっております。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■ microSDカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ microSDカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。

故障の原因となります。

■ 端子部を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■ microSDカードを落としたり、衝撃を与えないでください。

■ 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所で使用したり保管したりしないでください。

■ microSDカードは、SDメモリカード規格基準のフォーマット済みです。フォーマットする場合は、microSDカードに記憶されたデータが消失されますので、別にバックアップを取るなどして保管してください。

パソコンおよびSDメモリカード規格非準拠の機器でフォーマットを行うと、データの書き込みや読み出し、消去ができないなどの異常が発生することがあります。

■ お客様ご自身で、microSDカードに記録された情報内容は、バックアップを取ってくださるようお願いします。

万が一記録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ microSDカードを廃棄する際は、データを消去またはフォーマットするだけではなく、物理的に破壊した上で廃棄することをおすすめします。

※ 仕様および性能は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

PRADA Earphone（試供品）についてのお願い

■ **水をかけないでください。**
PRADA Earphoneは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本品は無料修理保証の対象外となっております。**

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **プラグは時々乾いた綿棒などで掃除してください。**

■ **プラグが汚れていると接触が悪くなりますので、プラグを乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際にはプラグの破損に十分ご注意ください。**

※ 仕様および性能は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

注意

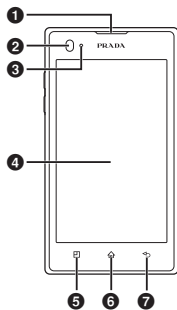
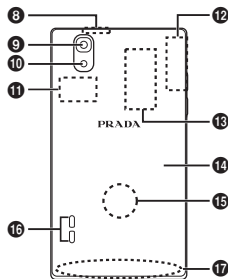
■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

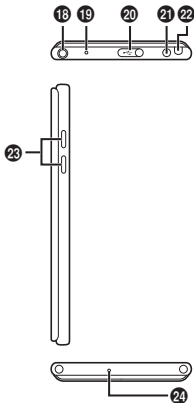
■ **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になると罰せられることがあります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

❶ 受話口（レシーバー）
❷ 照度センサー／近接センサー※1
❸ インカメラ
❹ ディスプレイ（タッチスクリーン）
❺ 巴 メニューキー
❻ ⌂ ホームキー
❼ ⮌ 戻るキー

❽ Bluetooth ／ Wi-Fiアンテナ部※2
❾ メインカメラ
❿ フラッシュ／ライト
⓫ microSDカードスロット（本体内部）
⓬ GPSアンテナ部※2
⓭ ドコモUIMカードスロット（本体内部）
⓮ リアカバー※3
⓯ ICカード（本体内部）※4
⓰ スピーカー
⓱ FOMAアンテナ部※2

※1 タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中に顔がタッチスクリーンに触れても誤動作しないようにします。

※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
※3 リアカバーの裏側のシールは、はがさないでください。シールをはがすと、ICカードを読み書きできない場合があります。
※4 おサイフケータイを使用するときは、この部分を読み取り機にかざしてください。

⑱ **イヤホンマイク端子**
⑲ **上部マイク**
⑳ **microUSB接続端子**
㉑ **電源キー／画面ロックキー／充電ランプ**
㉒ **ワンセグアンテナ**
㉓ **音量キー**
㉔ **下部マイク**

お知らせ

- 各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

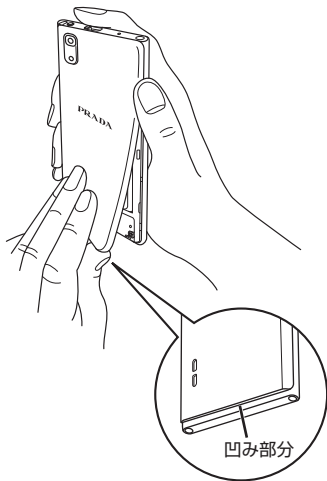
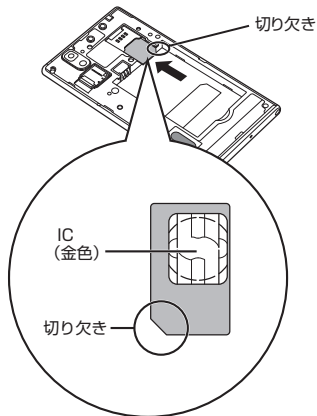
本端末前面には、キーが3つ配置されています。それぞれのキーの役割は次のとおりです。

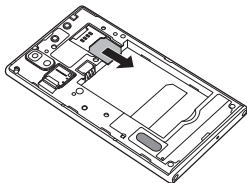
	メニューキー このキーをタップすると、現在の画面またはアプリケーションで実行できるオプションメニューが表示されます。
	ホームキー ・ このキーをタップすると、どのアプリケーションを使用中でも、どの画面が表示されていてもホーム画面が表示されます。 ・ このキーをロングタッチすると、最近利用したアプリケーションのサムネイルが表示されます。サムネイルをタップすると、アプリケーションを開くことができます（横向き画面で表示されるものがあります）。
	戻るキー このキーをタップすると、直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを非表示にします。

ドコモUIMカード

ドコモUIMカードとは、お客様の情報が記録されているICカードです。

ドコモUIMカードを取り付ける

1 図のように本端末を片手で持ち、下側の凹み部分に爪を入れ取り外す

2 電池パックを取り出して(P35)、ドコモUIMカードの金色のIC面を下に向けてスロットに差し込む

ドコモUIMカードを取り外す

1 リアカバーを外し、電池パックを取り出して、ドコモUIMカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

microSDカード

microSDカードは、互換性のあるほかの機器でも使用できます。

- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年8月現在）。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。

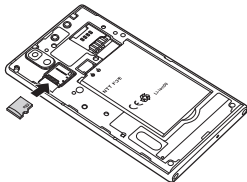
お知らせ

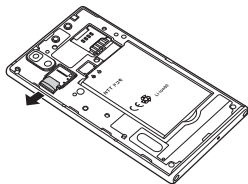
- 対応していない容量のmicroSDカードを取り付けると、データが消失する可能性があります。

microSDカードを取り付ける

1 リアカバーを取り外す (P32)

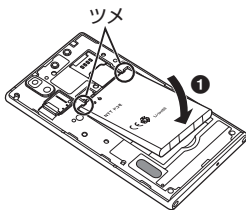
2 microSDカードの金属端子面を下に向けてスロットに差し込む

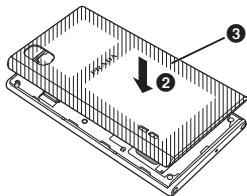
・ microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。

microSDカードを取り外す

1 リアカバーを外し、microSDカードを取り出す

電池パック

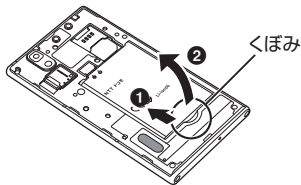
電池パックを取り付ける

1 リアカバーを取り外す (P32)

2 電池パックは、CEマークがある面を上にして本端末と電池パックのツメを合わせるように矢印（❶）の方向へ挿入する

3 リアカバーの向きを確認して、本体に合わせるように装着し（❷）、▨部分をしっかりと押して閉じる（❸）

- 本端末とすきまがないことを確認してください。

電池パックを取り外す

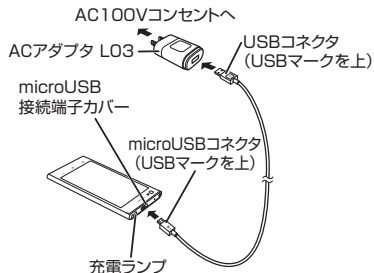
1 リアカバーを取り外す (P32)

2 本端末のくぼみに爪を入れ電池パックを矢印（❶）の方向に押しながら矢印（❷）の方向に持ち上げて取り外す

お知らせ

- 電池パックの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください。

充電

ACアダプタで充電する

付属のACアダプタ L03を使って充電する方法を説明します。

1 付属のUSB接続ケーブル L02のUSBコネクタをACアダプタ L03のUSB接続端子に差し込む

2 本端末のmicroUSB接続端子カバーを開く

3 USB接続ケーブル L02のmicroUSBコネクタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- USB接続ケーブル L02は、USBマークがある面を上にして水平に差し込んでください。

4 ACアダプタ L03のプラグを電源コンセントに差し込む

- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンが のように表示されるか、 ▶ ▶ ▶ ▶ のようにアニメーション表示されます。
- 電池パックがフル充電状態になると、ステータスバーの電池アイコンが になります。
- バックライトが消灯している場合、充電中は充電ランプが点灯します。充電が終わると充電ランプは消灯します。

5 充電が終わったら、microUSBコネクタを本端末から取り外し、microUSB接続端子カバーを閉じる

6 ACアダプタ L03のUSB接続端子からUSB接続ケーブル L02のUSBコネクタを取り外す

7 ACアダプタ L03のプラグを電源コンセントから取り外す

パソコンで充電する

1 本端末のmicroUSB接続端子カバーを開く

2 USB接続ケーブル L02のmicroUSBコネクタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む

3 USB接続ケーブル L02のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

4 USB接続モードの確認ダイアログが表示されたら、「充電のみ」

5 充電が終わったら、USB接続ケーブル L02のmicroUSBコネクタを本端末から取り外し、microUSB接続端子カバーを閉じる

6 USBコネクタをパソコンのUSBポートから取り外す

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キー（P31）を3秒以上押し続ける

- しばらくすると、ロック画面が表示されます。

電源を切る

1 電源キーを1秒以上押し続ける

2 「電源を切る」

3 「OK」

バックライトを点灯する

本端末では、誤動作の防止と省電力のため、一定時間が経過すると、バックライトが消灯されます。その状態でバックライトを点灯にして画面ロックを解除すると、バックライトが消灯される前の画面が表示されます。

1 電源キーを押す

- 「ロック中」画面が表示されます。

お知らせ

- バックライト点灯中に電源キーを押すと、画面がロックされます。

画面ロックを解除する

1 ロックアイコンをスワイプして画面ロックを解除する

- 「画面のロック」を設定している場合は、設定した解除方法を行います

お知らせ

- 画面ロックを「スワイプ」に設定している場合は、画面ロックを解除していない状態で、ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開くことができます。

基本操作（タッチスクリーンの使いかた）

本端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作を行うことができます。

タッチスクリーン利用上の注意

タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となります。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- 本体付属品および「オプション品・関連機器のご紹介」（P79）に記載されているアダプタ以外での充電中の操作

タッチスクリーンの操作

タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

- タップ：画面に軽く触れる
- ダブルタップ：画面に2度続けて軽く触れる
- ロングタッチ：画面に1秒以上触れる
- スワイプ：画面を軽くなぞる
- ドラッグ：画面をタッチしたままなぞって指を離す
- ピンチアウト：2本の指で画面をタッチし、タッチしたまま指の間を広げる
- ピンチイン：2本の指を開いて画面をタッチし、タッチしたままつまむように指を近づける

項目を開く

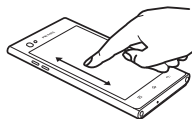
1 項目をタップする

チェックマークを付ける／外す

1 チェックボックスがある項目をタップする

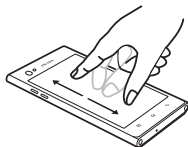
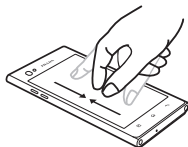
- チェックマークが付いていない場合、チェックマークが付きます。
- チェックマークが付いている場合、チェックマークが外れます。

画面をスクロールする

画面を上下にスクロールできます。一部のウェブページでは、左右にスクロールすることも可能です。

ドラッグすると画面がスクロールします。

スワイプすると画面が高速でスクロールします。スクロール中にタッチすると、スクロールが停止します。

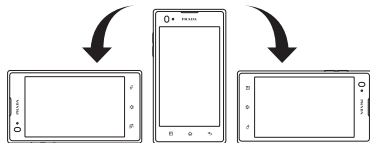
表示を拡大／縮小する

使用するアプリケーションによっては表示を拡大することができます。また、拡大した状態から縮小することもできます。

ピンチアウトすると指の動きに合わせて画面が拡大表示されます。

ピンチインすると指の動きに合わせて画面が縮小表示されます。

お知らせ

- 画面をドラッグすると ± が表示される場合があります。このズームコントロールアイコンをタップすることで画面表示の拡大／縮小をすることもできます。

画面の表示方向を変更する

本端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わります。

お知らせ

- 表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。
- ホーム画面で ▶「システム設定」▶「表示」をタップし、「表示」画面で「縦横表示の自動回転」のチェックマークを外すと、本端末を横向き／縦向きにしても画面の表示方向が切り替わらないようにすることができます。

スクリーンショットを撮る

表示している画面を画像として保存できます。

1 電源キーと音量キー（下）を同時に1秒以上押し続ける

- 電源キーと ⌂ を同時に1秒以上押し続けても、スクリーンショットを撮ることができます。
- 撮影したスクリーンショットは、「ギャラリー」の「Screenshots」で見ることができます。

ワンタッチメモを利用する

メモアプリケーションを起動せずに、簡単にメモができるアプリです。

1 メモを取りたい画面で、上下の音量キーを同時に押す

- 画面の上部に以下の情報が表示されます。

：背景を変更します。
／：元に戻し／やり直しします。
：ペンの種類やカラーを選択できます。
：消しゴムを利用できます。
：Bluetooth機能やGmail、Picasaなどで取ったメモを送信できます。
：取ったメモを保存します。
／：
ツールバーを表示／非表示します。
：画面サイズを調整します。

2 をタップする

- 取ったメモがギャラリーに保存されます。

お知らせ

- 通知パネルで「ワンタッチメモ」をタップしても、ワンタッチメモを起動することができます。

初期設定

初めて電源を入れたときの設定

本端末の電源を初めて入れたときは、本端末で使用する言語や日時の設定が必要です。一度設定を行うと、次回以降、設定する必要はありません。また、ここでの設定は、あとから変更できます。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。

1 **電源キーを3秒以上押し続ける**

2 **「ガイドに従って設定を始めましょう」の画面で「次へ」**

- 表示されている言語をタップすると、使用する言語を変更できます。

3 **「インターネット接続設定」画面で「モバイルネットワーク」、「Wi-Fi」のチェックマークを付ける/外す▶「次へ」**

- 「Wi-Fi」にチェックを入れると、Wi-Fiネットワークの各項目を設定する画面が表示されます。

4 **「Googleを利用する」画面で「ログイン」/「アカウントを作成」/「今は設定しない」▶「ありがとうございます」画面まで画面に従って設定する▶「完了」**

5 **「ソフトウェア更新」画面で「OK」**

6 **「ドコモサービスの初期設定」画面で「進む」**

7 **「アプリ一括インストール」画面で「インストールする」/「インストールしない」▶「進む」**

8 **「おサイフケータイの利用」画面で「設定する」/設定せずに「進む」**

9 **「ドコモアプリパスワードの設定」画面で「設定する」/設定せずに「進む」**

- 「設定する」を選択した場合は、ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」▶新しいドコモアプリパスワードを入力▶「OK」▶再度ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」と操作します。

10 **「位置提供設定」画面で「位置提供ON」/「位置提供OFF」/「電話帳登録外拒否」▶「進む」**

11 「設定完了」画面で「OK」
- 「戻る」をタップすると、設定を変更できます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で 巴 ▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する＜新しいAPN＞

1 ホーム画面で 巴 ▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」▶ 巴 ▶「APNの追加」

2 「名前」▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶「OK」

3 「APN」▶ アクセスポイント名を入力 ▶「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

5 巴 ▶「保存」

お知らせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。
- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で 凹 ▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 凹 ▶「初期設定に戻す」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で 凹 ▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 「mopera U（スマートフォン定額)」または「mopera U設定」のラジオボタンをタップして選択する

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額)」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Wi-Fiを設定する

本端末は、Wi-Fiネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。
接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワークに接続中は、Wi-Fiネットワークが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiネットワークのステータス

本端末がWi-Fiネットワークに接続されている場合、ステータスバーに が表示されます。また、ネットワーク検出通知が有効となっている場合、範囲内でセキュリティで保護されていないオープンネットワークが検出されると、常に がステータスバーに表示されます。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で ▶「システム設定」▶「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

3 接続するWi-Fiネットワーク名をタップする

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続を試みると、そのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスにネットワークのパスワードを入力し、「接続」をタップしてください。

セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワークを検出したら通知する

1 **ホーム画面で 田 ▶「システム設定」▶「Wi-Fi」**

2 **「Wi-Fi」をONにする**

3 **「ネットワーク検出通知」にチェックマークを付ける**

Wi-Fiネットワークを追加する

1 **ホーム画面で 田 ▶「システム設定」▶「Wi-Fi」**

2 **「Wi-Fi」をONにする**

3 **「ネットワークを追加」**

4 **「ネットワークSSID」ボックスにネットワークSSIDを入力する**

5 **「セキュリティ」**

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類から適切なものを選択します。
- セキュリティの設定ごとに、設定方法は異なります。

6 **「保存」**

Wi-Fiネットワークのパスワードを変更する

1 **ホーム画面で 田 ▶「システム設定」▶「Wi-Fi」**

2 **Wi-Fiネットワーク名をロングタッチする**

3 **「ネットワークを変更」**

- 設定状況が表示されます。「パスワード」ボックスをタップし、新たなパスワードを入力します。

Wi-Fiネットワークから切断する

1 **ホーム画面で 田 ▶「システム設定」▶「Wi-Fi」**

2 **切断するWi-Fiネットワーク名をロングタッチする**

3 **「ネットワークの切断」**

USBテザリングを有効にする

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル L02で接続すると、本端末をモデムとして利用し、パソコンをインターネットに接続させることができます。

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブル L02で接続する

- 「USB接続の種類」画面が表示されます。

2 「USBテザリング」

- 注意のメッセージが表示されます。注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

お知らせ

- USBテザリングを行う際、必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 7／Windows Vista／Windows XP（Service Pack 3 以降）

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。専用のドライバのダウンロードや操作方法、その他詳細については、下記のホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

Wi-Fiテザリングを有効にする

1 ホーム画面で ▶「システム設定」▶「その他...」▶「テザリング」

2 「Wi-Fiテザリング」

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

Wi-Fiアクセスポイントを設定する

1 ホーム画面で ▶「システム設定」▶「その他...」▶「テザリング」

2 「Wi-Fiアクセスポイントを設定」

3 「ネットワークSSID」入力欄をタップし、ネットワークSSIDを入力する

4 「セキュリティ」
- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「Open」、「WPA PSK」、「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

5 「保存」

お知らせ

- お買い上げ時の状態では、ネットワークSSIDは「L-02D_xxxx」、セキュリティは「WPA2 PSK」、パスワードは任意で入力されております。必要に応じて、セキュリティの設定を行ってください。

オンラインサービスアカウントを設定する

Googleなどのオンラインサービスで使用するアカウントを設定することで、本端末の情報を更新できます。また、サーバーの情報が更新された場合、自動的に同期するようにも設定できます。
さらに、不要なアカウントは削除することもできます。

オンラインサービスアカウントを追加する

1 ホーム画面で ▶「システム設定」▶「アカウントと同期」

2 「アカウントを追加」

3 アカウントを設定するオンラインサービスをタップする
- 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。

お知らせ

- docomoアカウントは追加できません。

オンラインサービスのデータを手動で同期する

1 ホーム画面で 凹 ▶「システム設定」▶「アカウントと同期」

2 同期するアカウントをタップする

3 同期するデータにチェックマークを付ける

オンラインサービスアカウントを削除する

1 ホーム画面で 凹 ▶「システム設定」▶「アカウントと同期」

2 削除するアカウントをタップする

3 凹 ▶「アカウントを削除」▶「OK」

お知らせ

- docomoアカウントは削除できません。

ホーム画面

ホーム画面やアイコンは、PRADAの世界観にこだわりを持ち、モノトーンで統一されたデザインが施されています。
ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加／移動したり、壁紙やアイコンのデザインを変えたりしてカスタマイズできます。
ホーム画面には、カスタマイズできるサブ画面が左右3画面ずつ用意されています。

お知らせ

- ホーム画面で 凹 をタップすると、「ホーム画面設定」(P71)、「ロック画面設定」(P71)、「アプリの設定」(P71)、「システム設定」(P70)を行うことができます。
- ⌂ をロングタッチすると、最近使ったアプリケーションが一覧で表示されます。アイコンをタップするとアプリケーションを起動できます。また、左右にアイコンをフリックすると履歴を削除できます。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面を自分好みにカスタマイズできます。

1 ホーム画面をロングタッチする

- ホームのカスタマイズ画面が表示されます。画面上部を「ホーム枠」と呼びます。
- ホーム画面で ＋ をタップしても同様の操作ができます。

2 下部のタブでいずれかを選択する

アプリ	プリインストールのアプリケーション一覧から、ショートカットを作成できます。
ダウンロード	自分でダウンロードしたアプリケーションの一覧から、ショートカットを作成できます。
ウィジェット	ウィジェットを配置できます
壁紙	ホーム画面の壁紙を選びます。

ショートカットなどの作成

1 ホーム画面をロングタッチする

2 「アプリ」、「ダウンロード」、「ウィジェット」のいずれかをタップする

3 ホーム枠を左右にドラッグして、追加先のホーム画面を表示する

4 追加する項目をホーム枠にドラッグし、移動先で指を離す

- ホーム画面に、ショートカットアイコンまたはウィジェットが追加されます。
- ホーム枠をタップすると、ホーム画面に戻ります。

ショートカットなどの移動

1 **ホーム画面で、移動するショートカットアイコン、またはウィジェットをロングタッチする**

2 **そのままドラッグし、移動先で指を離す**

- アイコンが移動できます。

お知らせ

- 右または左の画面の端にドラッグすると、ホーム画面の別のページに移動することができます。
- 別のショートカットアイコンの上にドラッグすると、フォルダーが作成され、フォルダー内にショートカットアイコンがまとめられます。

ショートカットなどのホーム画面からの削除

1 **ホーム画面で、ショートカットアイコン、またはウィジェットをロングタッチする**

2 **そのまま画面上部の にドラッグして指を離す**

- ホーム画面から削除されます。

アイコンのカスタマイズ

ホームアプリが「ホーム」の場合、ホーム画面で使用するショートカットアイコンを自分好みにカスタマイズできます。

標準ホームアプリのアイコンを変更する

1 **ショートカットアイコンをロングタッチする**

- アイコンの右上に が表示されます。

2 **もう一度ショートカットアイコンをタップする**

- アイコン選択画面が表示されます。

3 **お好みのデザインを選んでタップする**

写真アイコンに変更する

カメラやギャラリーの写真をホーム画面のアイコンとして設定することもできます。

1 **ショートカットアイコンをロングタッチする**

- アイコンの右上に が表示されます。

2 **もう一度ショートカットアイコンをタップする**

- アイコン選択画面が表示されます。

3 「写真アイコンの生成」▶「写真を撮影」／「ギャラリーから選択」のいずれかを選択する

・カメラまたはギャラリーが起動します。

4 カメラで写真を撮影して保存する／ギャラリーで設定したい画像を選択する ▶ サイズを調整する ▶「OK」

壁紙の変更

1 ホーム画面をロングタッチする

2 「壁紙」

3 「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙ギャラリー」またはほかの壁紙をタップする

・「ギャラリー」をタップした場合は、壁紙として使用する画像をタップして選択してください。続けて、画面に表示された枠をドラッグすることで壁紙として使用する部分を選択し、「OK」をタップしてください。
・「ライブ壁紙」をタップした場合は、ライブ壁紙の一覧が表示されます。いずれかのライブ壁紙をタップして選択した後、「壁紙に設定」をタップしてください。壁紙の種類によっては、「設定...」をタップすると、ライブ壁紙の設定を行うことができます。

ホーム画面の追加

ホーム画面を追加することができます。

1 ホーム画面でピンチインする

・「ホーム画面一覧」画面が表示されます。
・ホーム画面は最大7個まで作成できます。

2 「+」マークがあるサムネイルをタップする

・「+」マークはホーム画面が6個以下の場合に表示されます。

ホーム画面の並べ替え

ホーム画面のスクロール順を並べ替えることができます。

1 ホーム画面でピンチインする

・「ホーム画面一覧」画面が表示されます。

2 サムネイルをロングタッチして移動したい場所へドラッグする

ホーム画面の削除

1 ホーム画面でピンチインする

・「ホーム画面一覧」画面が表示されます。

2 サムネイルをロングタッチして、そのまま画面上部の 🗑 にドラッグする。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

- ステータスアイコンおよび通知アイコンについて、詳しくは本端末の「取扱説明書」をご参照ください。

主なステータスアイコン

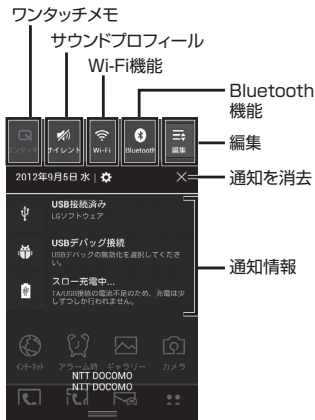
	電波レベル
	圏外
	Bluetooth機能ON
	Bluetoothデバイスに接続中
	電池残量
	充電中
	Wi-Fi接続中
	アラーム設定中

主な通知アイコン

	新着Gmailあり
	新着Googleトークメッセージあり
	カレンダーに設定された予定あり
	不在着信あり

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージ、リマインダー、予定の通知などを通知パネルから直接開くことができます。

通知パネルの見かた

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。通知パネル上部にはアイコンが表示され、オンの状態では白、オフの状態ではグレーで表示されます。

通知内容の詳細を表示する

1 通知パネルの通知メッセージをタップする

- 最適なアプリケーションが開き、通知内容の詳細が表示されます。

通知パネルの表示を消去する

1 通知パネルの ☒ をタップする

通知パネルを閉じる

1 パネルの下部を上にドラッグまたはスワイプする

アプリケーション画面

1 ホーム画面で「アプリ」

アプリケーション画面が表示されます。

❶ **「アプリ」タブ**
本端末にインストールしたアプリケーションの一覧が表示されます。

❷ **「ダウンロード」タブ**
本端末にダウンロードしたアプリケーションの一覧が表示されます。

❸ **「ウィジェット」タブ**
ホーム画面に追加可能なウィジェットの一覧が表示されます。

❹ **設定ボタン**
「アプリ」／「ダウンロード」タブでタップすると、アプリケーションの移動やアンインストール、詳細情報の確認などができます。
- アイコンの右上に ⊗ が付いていないアプリケーションは削除できません。
- 「ウィジェット」タブでは、利用できません。

❺ **アプリケーション／ウィジェットの一覧**

❻ **位置表示バー**
現在画面の位置が表示されます。

2 アイコンをタップする

- タップしたアイコンのアプリケーションが開きます。

アプリケーションの管理

アプリケーション画面でアプリケーションの管理を行うことができます。

1 ホーム画面で「アプリ」

2 アプリ一覧画面で ⊡

小さなアイコン	画面に配置するアイコンの数を増やします。
リセット	すべてのアプリケーションを初期状態の並びに戻します。
アプリの設定	アプリケーションに関する設定を行います。(P71)

システム設定	各種設定を行うことができます。(P70)

ショートカットのホーム画面への追加

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ショートカットを作成したいアプリケーションをロングタッチ ▶ そのままドラッグし、移動先で指を離す

- ホーム画面にショートカットアイコンが追加されます。

アプリケーションの移動

1 ホーム画面で「アプリ」

2 をタップ

3 移動するアプリケーションをロングタッチする

4 そのままドラッグし、移動先で指を離す

- アプリケーションが移動されます。

アプリケーションのアンインストール

1 ホーム画面で「アプリ」

2 をタップ

- アンインストールできるアプリケーションのアイコンに が表示されます。

3 アンインストールしたいアプリケーションをタップする

- 「アンインストール」画面が表示されます。

4 確認画面が表示されたら、「OK」▶「OK」をタップする

- アプリケーションが削除されます。
- 削除できないアプリケーションは「選択したアプリケーションは削除できません」と表示されます。

文字入力

本端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードで文字を入力することができます。

ソフトウェアキーボードでの文字入力

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチスクリーンにソフトウェアキーボードが表示されます。本端末では、テンキーとフルキーの2種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。
キーアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。

■ テンキーソフトウェアキーボード

日本語を「かな入力」で入力する場合に使用します。

■ フルキーソフトウェアキーボード

日本語を「ローマ字入力」で入力する場合に使用します。

❶ **逆順／ Undoキー**
1つ前の文字を表示(逆順)します。「Undo」と表示されているときは、1つ前の操作を取り消します。

❷ **左カーソルキー**
左へカーソルを移動します。ロングタッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を狭めます。

❸ **記号／英数カナキー**
絵文字／記号／顔文字リストを表示します。「英数カナ」と表示されているときは、英数字またはカナの候補を表示します。

❹ **文字種切替／設定キー**
入力（文字種）を切り替えます。
ロングタッチすることで「iWnn IMEメニュー」を表示します。

❺ **削除キー**
カーソル位置の左の文字を削除します。ロングタッチすることで連続して削除できます。

❻ **右カーソルキー**
右へカーソルを移動します。ロングタッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を広げます。また、未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、予測変換の対象文字数を増やします。

❼ **スペース／変換キー**
スペースを入力します。変換時は連文節変換を行います。

❽ **確定／実行／改行／検索キー**
入力文字／変換文字を確定します。すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能（実行・改行・検索）を実行します。

❾ **シフトキー**
大文字キーと小文字キーを切り替えます。
1回タップ：文頭だけ大文字
2回タップ：全部大文字
3回タップ：小文字

お知らせ

- キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- ソフトウェアキーボードの種類を切り替える方法については、「キーボードを切り替える」（P58）をご参照ください。
- キーボードが不要な場合は、⮌ をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。

文字入力には8つのモードがあり、現在のモードはステータスバーのアイコンで確認できます。

あ	ひらがな漢字	AB	半角英字
カ	全角カタカナ	1	全角数字
ｶﾅ	半角カタカナ	12	半角数字
A	全角英字	🎤	音声入力

キーボードを切り替える

1 ソフトウェアキーボードで 文字 を ロングタッチする

2 「テンキー⇔フルキー」

- 入力モードを変更すると、キーボードは自動的に切り替わります。「テンキー⇔フルキー」で切り替えなおしてください。

文字種を切り替える

文字入力画面で 文字 をタップするたびに、「ひらがな漢字」▶「半角英字」▶「半角数字」▶ 音声入力の順に文字種が切り替わります。
文字 をロングタッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示され、「入力モード切替」をタップすると入力モードを切り替えることができます。

絵文字／記号／顔文字を入力する

文字入力画面で ☺記号 をタップすると、絵文字／記号／顔文字入力モードになりディスプレイに絵文字、記号または顔文字の候補が表示されます。
「絵文字」をタップすると絵文字、「記号」をタップすると記号、「顔文字」をタップすると顔文字の入力候補が表示されます。入力候補をタップすると、絵文字、記号または顔文字が入力できます。
「文字」をタップすると、絵文字、記号または顔文字入力前のソフトウェアキーボードが表示されます。

- 「絵文字」はメール、メモなど絵文字が使用できるアプリの入力時に表示されます。

文字入力の設定を変更する

文字入力画面で 文字あA1 をロングタッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示されます。ここで「各種設定」をタップすると、文字入力に関する設定が変更できます。

ロック／セキュリティ

暗証番号とドコモUIMカードの保護について

本端末を便利で安全にお使いいただくため、本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などが設定できます。用途に応じて上手に使い分けて、本端末をご活用ください。

お知らせ

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」など容易に推測できる番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類や本端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンで新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なおdメニューからは、dメニュー▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

お知らせ

- 「My docomo」「お客様サポート」については、P110をご覧ください。

PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

お知らせ

- 新しく端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

ドコモUIMカードのPINを有効にする

1 ホーム画面で 凹 ▶「システム設定」▶「セキュリティ」

2 「UIMカードのロック設定」

3 「UIMカードのロック」

4 PINコードを入力して「OK」
- 「UIMカードのロック」にチェックマークがつきます。

PINコードを変更する

1 ホーム画面で 凹 ▶「システム設定」▶「セキュリティ」

2 「UIMカードのロック設定」

3 「UIM PINの変更」

4 すでに設定されているPINコードを入力して「OK」

5 新たに設定するPINコードを入力して「OK」

6 手順5で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

PINコードを入力する

本端末の電源を入れたときにPINコードの入力を求められたら、以下のように操作します。

1 ドコモUIMカードのPINコードを入力して「OK」

ドコモUIMカードのPUKロックを解除する

PINコードの入力を3回連続間違えてPINコードがロックされた場合は、以下のように操作します。

1 PINロック解除コード入力(PUK)画面でPINロック解除コードを入力して「OK」

2 新たに設定するPINコードを入力して「OK」

3 手順2で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

デバイス管理をする

本端末でおまかせロックを利用できるよう、デバイス管理を設定します。

1 ホーム画面で 凹 ▶「システム設定」▶「セキュリティ」

2 「デバイス管理機能の選択」▶ デバイス管理機能をタップ ▶「有効にする」

- お買い上げ時にはおまかせロックが有効になっています。

電話

電話

電話をかける

本端末では、一般的な通話のほか国際電話、緊急電話をかけることもできます。

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」

- 「ダイヤル」タブが表示されます。

2 電話番号を入力 ▶

- 電話番号の入力を誤った場合は、をタップすることで消去できます。

通話を終了する

1 通話中に「終了」

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
  お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合

は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面およびPINロック解除コード入力画面からは緊急通報110番／119番／118番に発信できません。PINコードについて詳しくは「暗証番号とドコモUIMカードの保護について」(P59)をご参照ください。

電話を受ける

着信すると着信音が鳴ります。サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定していると着信音が鳴りません。

1 電話がかかってきたら「操作開始」▶「通話」をタップ
- 通話できます。

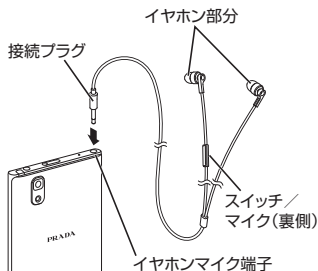
着信を拒否する

1 電話がかかってきたら「操作開始」▶「拒否」をタップ
- 着信が拒否されます。

着信音を消音にする

1 着信中に音量キー(上)／音量キー(下)を押す
- 着信音が聞こえなくなります。

PRADA Earphoneで電話をかける／受ける

PRADA Earphone（試供品）を使用すると、音楽などを聴いているときでも、電話をかけたり、受けたりすることができます。

- 接続プラグは、イヤホンマイク端子にまっすぐ差し込み、カチッと音がするまで強く押し込んでください。

電話をかける

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」

- 通常の電話をかける操作をします。（P63）

2 通話を終了するときは、PRADA Earphoneのスイッチを押す

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、PRADA Earphoneのスイッチを押す

- 画面上での操作をせず、電話に出ることができます。
- 着信時にPRADA Earphoneのスイッチを1秒以上押すと、着信を拒否することができます。

2 通話を終了するときは、もう一度PRADA Earphoneのスイッチを押す

通話中の操作

通話中には利用状況に応じて音量を調整したり、スピーカーやマイクのオン／オフ、保留などの操作ができます。

通話音量を調整する

通話中に相手の声の音量を調整できます。

1 音量キー（上）／音量キー（下）を押す

- 操作に応じて、通話音量が変わります。

スピーカーをオンにする／オフにする

1 通話中に「スピーカー」

- スピーカーから通話相手の音声が聞こえます。

2 スピーカーがオンの状態で「スピーカー」

- スピーカーから通話相手の音声が聞こえなくなります。

お知らせ

- スピーカーがオンになっている状態で本端末を耳に当てないでください。
- 本端末に向かって50cm以内の距離でお話しください。音が割れて聞き取りにくい場合は、スピーカーをオフにしてください。

マイクをオンにする／オフにする

1 通話中に「ミュート」

- 通話相手に音声が聞こえなくなります。

2 マイクがオフになっている状態で「ミュート」

- 再び通話相手に音声が聞こえるようになります。

通話を保留する

1 通話中に「保留」

- 通話を保留します。

2 保留になっている状態で「保留」

- 保留が解除され、通話を再開します。

お知らせ

- 通話を保留するには「キャッチホン」のご契約が必要です。

発着信履歴

着信や発信の履歴は自動的に記録されます。また、この履歴を利用して電話をかけたり、電話帳に電話番号を登録することもできます。

不在着信の相手に電話をかける

不在時に着信があった場合は、ステータスバーから不在着信の通知を確認できます。

1 ステータスバーに が表示されている状態でステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

2 不在着信の通知をタップする

3 不在着信の履歴の右にある をタップする

発着信リストを利用して電話をかける

発着信リストに記録された電話番号に電話がかけられます。

1 ホーム画面で「電話」▶「発着信リスト」タブ

2 相手の名前の右にある または電話番号の右にある をタップする

発着信リストの電話番号を電話帳に登録する

発着信リストの中で、電話帳として登録されていないものを登録できます。

1 「発着信リスト」タブで電話番号をタップする

2 「電話帳に登録」

3 「新規登録」

- 複数のアカウントを登録している場合は、電話帳を作成するアカウントを選択してください。

4 情報を入力して「登録完了」

発着信リストを削除する

発着信リストは自動的に追加されますが、任意の履歴またはすべての履歴を削除できます。

任意の発着信リストを削除する

1 「発着信リスト」タブで電話番号をロングタッチする

2 「通話履歴から削除」▶「OK」

すべての発着信リストを削除する

1 「発着信リスト」タブで ▶「全件削除」▶「OK」

電話帳

電話帳には、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスなど電話帳に関わる情報が入力できます。

電話帳を表示する

電話帳に登録されている情報が表示できます。

1 ホーム画面で「電話帳」

電話帳を登録する

新たに連絡先を登録できます。

1 「連絡先」タブで「登録」をタップ

- 複数のアカウントを登録している場合は、連絡先を作成するアカウントを選択してください。

2 情報を入力して「登録完了」

連絡先を削除する

1 「連絡先」タブでいずれかの電話帳をタップ

2 ▶「削除」▶「OK」

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他の端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

電話帳コピーツールを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「電話帳コピーツール」

- 初めてご利用される際には、使用許諾契約書に同意していただく必要があります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

1 **microSDカードを本端末に取り付ける**

2 **「エクスポート」タブ画面で「開始」**
- docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

3 **「OK」**

電話帳をmicroSDカードからインポートする

1 **電話帳データが保存されたmicroSDカードを本端末に取り付ける**

2 **「インポート」タブ画面でインポートしたいファイルをタップ ▶「上書き」／「追加」**
- インポートした電話帳はdocomoアカウントに保存されます。

3 **「OK」**

GoogleアカウントのGoogle連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップ ▶「上書き」／「追加」**
- 「上書き」を選択すると、現在の端末内の電話帳データはすべて消去されます。
- コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

2 **「OK」**

お知らせ

- ほかの端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先（電話帳）に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 連絡先（電話帳）をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳コピーツールで作成（エクスポート）した電話帳を電話帳コピーツール以外でご利用される場合、正しく表示されないことがあります。

本体設定

設定メニュー

本端末では、ホーム画面で 🔲▶「システム設定」をタップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。ここで表示されるメニューは次のとおりです。

■ 無線とネットワーク

Wi-Fi	Wi-Fi機能をON ／ OFFにします。 Wi-Fi機能を使用するための各種設定を行います。
Bluetooth	Bluetooth機能をON ／ OFFにします。 Bluetooth機能を使用するための各種設定を行います。
データ使用	モバイルデータ通信を利用するかどうか、モバイルデータ通信の制限設定、データ使用サイクルのグラフと使用されたサービスの内訳を表示します。
通話設定	各種通話に関する設定を行います。
その他...	機内モード	電波を発する機能を有効／無効にします。
	Wi-Fi Direct	Wi-Fi Direct対応機器と、アクセスポイントを経由せずに直接接続します。
	テザリング	ポータブルWi-Fiアクセスポイントの設定を行います。
	VPN	VPN（仮想専用線）を用いた通信をするための設定を行います。
	モバイルネットワーク	アクセスポイントの設定やデータローミング、ネットワークモードの設定を行います。

■ デバイス

サウンド	ボリュームなどの設定を行います。
表示	画面の明るさなど表示に関する設定を行います。

ホームスクリーン	ホーム画面に関する設定を行います。 ホーム選択、アニメーション表示、スクリーン効果、壁紙、スクロール壁紙、エンドレスモード、設定のバックアップとリストアについて設定できます。
画面のロック	画面ロックを使用するかどうか、使用する場合に必要な設定を行います。
ジェスチャー	モーションジェスチャーに関する設定を行います。
ストレージ	microSDカードの空き容量表示、マウント、フォーマット、システムメモリの空き容量表示などを行います。
パワーセーブ	バッテリー残量が少ないときに、オフにする機能の設定を行います。
アプリ	アプリケーションに関する設定を行います。

■パーソナル

ドコモサービス	アプリケーション管理やドコモアプリパスワード、オートGPSの設定などを行います。
アカウントと同期	アカウントおよび同期に関する設定を行います。
位置情報サービス	GPS機能を使用するかなどを設定します。
セキュリティ	パスワードの設定などを行います。
言語と入力	本端末の使用言語やキーボードの設定を行います。 音声認識の設定やテキストの読み上げに関する設定を行います。
バックアップとリセット	アプリケーションや各種設定をGoogleサーバーでバックアップするかどうかなどの設定を行います。また、本端末内のすべてのデータを消去します。

■ システム

日付と時刻	日付や時刻に関する設定を行います。
ユーザー補助	ユーザー補助に関するアプリケーションの設定などを行います。
接続	USB接続モードやOn-Screen Phone機能の設定を行います。
開発者向けオプション	アプリケーション開発に必要となる各種設定を行います。
端末情報	本端末に関する各種情報を表示します。

● On-Screen Phone（OSP）とは

On-Screen Phoneは本端末の画面をパソコンで表示でき、パソコンのマウス／キーボード入力を使って本端末を簡単に操作できる機能※です。
パソコンのキーボードを使って文字を入力したり、アラームやスケジュールや電話の受信などをパソコンに通知したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンと本端末でファイルの交換をしたりできます。

※ 本端末で操作できる機能のうち、On-Screen Phoneでは操作できない機能もあります。

● OSPについて

- 操作方法やパソコンソフトのダウンロード、その他詳しくは、下記のホームページをご参照ください。

  パソコンから

  → http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

メール／インターネット

spモードメール

iモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」

2 をタップする

3 「To」ボックスをタップ ▶ 送信相手の電話番号を入力する

4 「メッセージ入力」ボックスをタップ ▶ メッセージを入力する

5 「送信」

お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

メッセージ（SMS）を受信する／読む

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」

2 いずれかのスレッドをタップする

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

メールアカウントを設定する

あらかじめ、ご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

2 「メールプロバイダーの選択」画面でメールプロバイダーを選択する

3 メールアカウントの設定画面でメールアドレスとパスワードを入力する

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メールを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

受信したメールを表示する

1 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

メールを作成して送信する

1 「受信トレイ」画面で ▶
2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する
3 「件名」ボックスに件名を入力する
4 本文欄にメッセージを入力する
5

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信を行えます。

Gmailを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Gmail」

お知らせ

- Gmailの詳細については、「受信トレイ」画面で ▶「ヘルプ」をご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができます。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていないときや圏外時など、本端末の状態によっては、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

1 エリアメールを自動的に受信する
- エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示されます。
- 画面ロックが設定されている場合、エリアメールの本文は表示されません。画面ロックを解除すると表示されます。
- 着信音量を変更することはできません。
- お買い上げ時は、マナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定）中でも警告音が鳴ります。鳴らないように設定できます。（P76）

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

2 いずれかのエリアメールをタップする

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、着信時の動作などを設定できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

2 凹▶「設定」

3 必要に応じて設定を変更する

項目	説明
受信設定	チェックマークを付けるとエリアメールを受信します。
着信音	着信音の鳴動時間とマナーモード設定中の動作を設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信時の動作を確認できます。

その他の設定	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外のエリアメールを受信するために、受信したいエリアメール名とMessage IDを登録できます。

ブラウザ

ブラウザを利用することで、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

ブラウザを開く

1 ホーム画面で「インターネット」

- ホームページが表示されます。
- ウェブページをピンチアウトすると、拡大表示されます。ピンチインすると、縮小表示されます。

❶ **検索ボックス**
タップすると検索ボックスが表示されます。検索する文字やURLを入力すると、ウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。
リストのいずれかをタップするか、URLを最後まで入力して「実行」をタップすると、ウェブページが表示されます。
ブラウザ画面に検索ボックスが表示されていない場合は、ウェブページの最上部までスクロールすると表示されます。

❷ **ウィンドウ切り替え**
複数のウィンドウでウェブページにアクセスしている場合は、選択したウィンドウに切り替えることができます。☒ をタップすると、ウィンドウを閉じることができます。

❸ **前のウェブページ**※
前のウェブページを表示します。

❹ **次のウェブページ**※
次のウェブページを表示します。

❺ **ズーム**※
タッチしながら本端末を手前に傾けると、ウェブページの表示を拡大します。後ろに傾けると、縮小します。

❻ **新しいウィンドウ**※
新しいウィンドウが開き、ホームページが表示されます。

❼ **ブックマークボタン**※
「ブックマーク」タブを表示します。

※ アイコン表示されていない場合、ブラウザ画面下部を上にドラッグすると表示されます。

Googleトーク

GoogleトークはGoogleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。

- Googleトークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳しくは「オンラインサービスアカウントを設定する」（P48）をご参照ください。

Googleトーク利用の準備

Googleトークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

Googleトークにログインする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「トーク」

- 設定しているGoogleアカウントが表示されます。

その他

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- リアカバー L29
- 電池パック L16
- USB接続ケーブル L02
- HDMI変換ケーブル L01
- microUSB接続ケーブル 01
- ACアダプタ L03※1
- ACアダプタ 03
- FOMA充電microUSB変換アダプタ L01
- FOMA ACアダプタ 01※2 ／ 02※2
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※2
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- FOMA DCアダプタ 01※2 ／ 02※2
- DCアダプタ 03
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- 車載ハンズフリーキット 01
- 車内ホルダ 01
- キャリングケース 02
- ポケットチャージャー 01
- ポケットチャージャー 02

※1 ACアダプタ L03の充電方法について →P36
※2 L-02Dに接続するには、FOMA充電microUSB変換アダプタL01が必要です。

試供品（microSDカード（8GB）、PRADA Earphone）

ご使用方法

- 試供品は無料修理保証の対象外です。

microSDカード（8GB）

■ ご使用上のお願い

- 取り付けかた／取り外しかたをご確認ください。（P33）無理に取り付け／取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本製品をご使用の際は、必ずデータのバックアップを作成してください。本製品に記録されたデータの破壊、消失については、故障や損害の内容／原因に関わらず、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品には寿命があります。長時間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。
- 本製品およびSDカードアダプタにラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け／取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。
- 本製品を廃棄する場合は、地方自治体の規則に従って処理してください。

■ 免責事項

次の項目に該当する場合については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からの請求
- 本製品の取り扱いにおいて、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害
- 本製品のご使用において発生したデータの消失、破損
  - 当社では、データの復旧／回復作業は行っておりません。
- 接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから発生した損害

■ 主な仕様

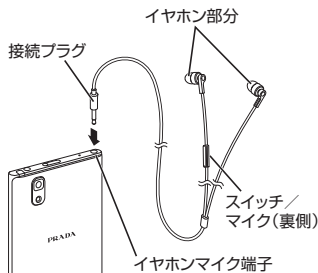
動作電圧	2.7V ～ 3.6V
外形寸法	縦：約15mm、 横：約11mm、 厚み：約1.0mm
質量	約0.24g

- 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

PRADA Earphone

1 **PRADA Earphoneの接続プラグを本端末のイヤホンマイク端子に差し込む**

- 接続プラグは、イヤホンマイク端子にまっすぐ差し込み、カチッと音がするまで強く押し込んでください。
- 使い終わったら、取り付けかたと逆の手順で取り外します。

■主な仕様

コネクタ形状	3.5mmステレオミニプラグ
インピーダンス	16Ω±2.4Ω
最大入力	20mW（0.56V）
最大出力	100±3dB
サイズ	長さ 約1,080mm
質量	約13g（本体のみ）

- 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

テレビで静止画や動画を見る

別売のMHL対応のHDMI変換ケーブル L01やHDMIケーブルを使用して、本端末とHDMI端子付きテレビやディスプレイなどを接続すると、端末内に保存された静止画や動画を再生することができます。
また、「Twonky Special」アプリからDLNAを利用して端末内やインターネット上の動画・写真・音楽をワイヤレス再生することができます。

- ワンセグは著作権保護のため、HDMI接続による動画出力には対応していません。

- 1080P（Full HD）のコンテンツの場合、縦モードでは動画出力はできません。横モードでは動画出力は可能です。
- HDCPに対応していないディスプレイやテレビでは、著作権保護のため、画面が見えなくなる場合があります。
- カメラミラーリング時は、テレビ側の動画出力は制限されます。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。(ソフトウェア更新→P89)
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

カテゴリ	電源
症　状	本端末の電源が入らない
チェック	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P34 • 電池切れになっていませんか。→P36

カテゴリ	充電
症　状	充電ができない 充電ランプが点灯しない
チェック	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P34 • アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 • ACアダプタを使用する場合、ACアダプタがUSB接続ケーブルで、本端末にしっかりと接続されていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

カテゴリ	充電
症　状	画面に「充電してください」と表示される
チェック	• 電池残量が少ない場合は充電してください。→P36

カテゴリ	端末操作
症　状	操作中・充電中に熱くなる
チェック	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影やワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

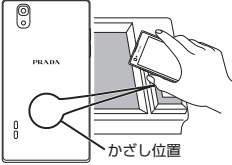
カテゴリ	端末操作
症　状	電池の使用時間が短い
チェック	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

カテゴリ	端末操作
症　状	電源断・再起動が起きる
チェック	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

カテゴリ	端末操作
症　状	キーを押しても動作しない
チェック	• 画面ロックを設定していませんか。→P38

カテゴリ	端末操作
症　状	ドコモUIMカードが認識しない
チェック	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P32

カテゴリ	端末操作
症　状	時計がずれる
チェック	・ 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「システム設定」の「日付と時刻」で「日付と時刻の自動設定」にチェックマークが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

カテゴリ	端末操作
症　状	端末動作が不安定
チェック	・ ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ・ セーフモードの起動方法 1. 電源OFFの状態から電源キーを押します。 2. 動くPRADAロゴが表示されたあと、ホーム画面が表示されるまで、音量キー（下）を押し続けます。 ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 ・ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。

チェック	・ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

カテゴリ	端末操作
症　状	アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）
チェック	・ 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。

カテゴリ	通話
症　状	をタップしても発信できない
チェック	・「UIMカードのロック」を設定していませんか。→P61 ・ 機内モードを設定していませんか。→P70

カテゴリ	通話
症　状	通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）
チェック	・ 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。 ・ 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状況を示す電波レベルが4本表示している 」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ・ 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

カテゴリ	カメラ
症　状	カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
チェック	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

カテゴリ	おサイフケータイ
症　状	おサイフケータイが使えない
チェック	• 電池パックを取り外すと、おサイフケータイ ロック設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • おサイフケータイ ロック設定を設定していませんか。 • 本端末の背面のかざし位置（P30）を読み取り機にかざしていますか？ PRADA かざし位置

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説　明
• サービスは無効になっています • ドコモUIMカードが挿入されていません	• サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。 • ドコモUIMカードが正しく機能していません。ドコモUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
PIN1がロックされましたPINロック解除コードを入力してください	PUK（PINロック解除コード）（P61）を正しく入力してください。
空き容量低下	空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除（P56）して容量を確保してください。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- 本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、マイク部
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

L-02Dのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。搭載されているアプリケーションの更新に使う機能で、3G接続とW-Fi接続の両方で実行できます。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
更新方法は、次の3種類があります。

自動更新 ： 更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
即時更新 ： 今すぐ更新を行います。
予約更新 ： 予約した時刻に自動的に更新をします。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続する事をおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき*
  - 国際ローミング中*
  - 機内モード中*
  - OSバージョンアップ中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき

  ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、「ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません」と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のL-02D固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、「書き換えに失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新の設定

お買い上げ時は、自動更新の設定が［自動で更新を行う］に設定されています。

1 ホーム画面で ▶「システム設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「ソフトウェア更新設定の変更」

2 「自動で更新を行う」／「自動で更新を行わない」

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに （ソフトウェア更新有）が通知されます。

- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。

2 「ソフトウェア更新有」をタップする

- 書換え時刻が表示されます。

3 目的の操作を行う

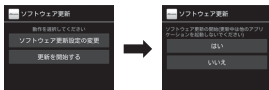
- 「OK」：ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。
- 「開始時刻変更」：予約更新→「ソフトウェアの予約更新」（P92）
- 「今すぐ開始」：即時更新→「ソフトウェアの即時更新」（P92）

お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに （ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が、［自動で更新を行わない］の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

**すぐにソフトウェア更新を開始します。
ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。**

1 **ホーム画面で ▶「システム設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「更新を開始する」▶「はい」**

- 書き換え予告画面からの起動：書き換え予告画面を表示 ▶「今すぐ開始」

2 **「書き換え処理を開始します」表示後、約3秒後に自動的に書き換え開始**

- 「OK」をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。ステータスバーを開いて通知をタップすると完了画面が表示されます。

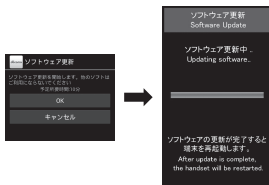
ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 **書換え予告画面を表示 ▶「開始時刻変更」**

2 **時刻を入力 ▶「OK」**

予約した時刻になると

開始時刻になると書換え処理画面が表示され、約3秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

お知らせ

- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にL-02Dの電源がOFFの場合、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時に「本体メモリ不足のため更新ができません。空き領域をご確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合には、本体メモリの空き容量を確認したうえで、再度ソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新実行時にステータスバーに「! ソフトウェア更新を中断しました。端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください。」と表示された場合は、下記の状態でない事をご確認のうえ、再度更新を行ってください。
  - 圏外
  - 電池パック外れ
  - 他機能との競合
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - 国際ローミング中

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種L-02Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.397 W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケースなどのアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ

http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

LG Electronicsホームページ（本端末の「仕様」のページをご確認ください）

http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp

（URLは予告なく変更される場合があります。）

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.

Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at

its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.99 W/kg, and when worn on the body, is 0.83 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID ZNFL02D.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "L-02D" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.408 W/kg at the ear, and 0.160 W/kg when worn on the body.
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168ⓘ

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi (WLAN)	This device is intended for sale in Japan only. It can be operated in all European countries. The WLAN can be operated in the EU without restriction indoors, but cannot be operated outdoors in France, Russia and Ukraine.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE: Excessive sound pressure from earphones can cause hearing loss.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「おまかせロック」「spモード」「エリアメール」「公共モード」「デコメール®」「mopera」「mopera U」「eトリセツ」「ケータイデータお預かりサービス」「dメニュー」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- LG On-Screen PhoneはLG Electronics Inc.の日本における登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「PRADA」「プラダ」はルクセンブルグ法人Prada S.A.の登録商標です。
- GoogleおよびGoogle ロゴ、Android、PlayストアおよびPlayストア ロゴ、Googleマップ、Googleトーク、Googleカレンダー、Google+およびGoogle+ロゴ、GmailおよびGmail ロゴ、YouTubeおよびYouTube ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player、Adobe® Flash® Lite® テクノロジーを搭載しています。

  - Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  - Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  - Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.

索引

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ワ

英数字

ご契約内容の確認･変更､各種サービスのお申込､各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー ▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き
※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書巻末の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ ただし、傷病者の救護または公共の安全維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ **サイレント**
操作音・着信音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

■ **バイブレート**
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ **公共モード（電源OFF）**
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	**-81-3-6832-6600***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-02Dからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」をロングタッチします）。

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	**-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	**-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-02Dからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」をロングタッチします）。

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	**-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先

■LGモバイルお客様ご相談センター

0120-011-167

午前9:00 ～午後6:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

Printed in Korea　'12.8 (3版)

PRADA phone by LG

L-02D

大豆油インキを使用しています。

P/N : MFL67413901 (3.0) G